

# 下村博文文科相ならびに大学設置審議会 委員各位への公開質問状（案）

地震爆発論学会が4月24日に発送した、原子力規制委員会委員長代理島崎邦彦氏への公開質問状に関しては、回答が寄せられないまま、島崎氏の退任を文科相を含む政権幹部は決定されました。

この意味するところは、地震学会会長の経歴があり、東大地震研究所所長も務め、東大名誉教授でもある地震学の権威者が「活断層理論は間違っている」という当学会の主張を認めたことを意味しております。

つきましては、以下の3点に関して、ご質問いたします。

：間違った理論に基づいて社会的不安を増長する原因を作り出している、東京大学地震研究所、ならびに関連する学部の存続を許可しておられる理由をお尋ねします。一度認可された研究機関は永久に存続が許されるのでしょうか。

：宗教法人幸福の科学から提出された「幸福の科学大学」の申請が許可されていないと聞き及んでいます。

当大学からは、

イ、 宗教の本質を深く学んだ者にしか為し得ない、世界の宗教（紛争）問題調和士  
ロ、 霊的な視点を練磨した者にしか為し得ない、世界の民族（紛争）問題調和士  
という二つの調和士、つまり、真の意味での世界平和に貢献できる人材の排出が期待されます。この視点に疑義があるようでしたらお聞かせ願いたいと存じます。

：東大地震研究所の存続意義と、「幸福の科学大学」設立の意義と、どちらのほうに高い価値があると判断されているのでしょうか。

以上3点について、下村文科相ならびに大学設置審議会委員各位のお考えを質問させていただきます。審議期間が短く、緊急を要する問題ですので、解答期限を6月14日（土）とさせていただきます。

回答が得られない場合には、地震爆発論学会として「公開質問状回答請求署名活動」を展開する予定があることをお知らせいたします。

ご意見が纏められるようならば、ご回答は代表者による見解でも結構です。

-----  
地震爆発論学会 会長 工学博士（元・名古屋工業大学教授） 石田 昭

回答先：〒465-0024 名古屋市名東区本郷 2-57 CIM 第3本郷 S-203